

令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 石川県 内灘町

自治体名：石川県内灘町

担当課名：教育部文化スポーツ課

電話番号：076-286-6716

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

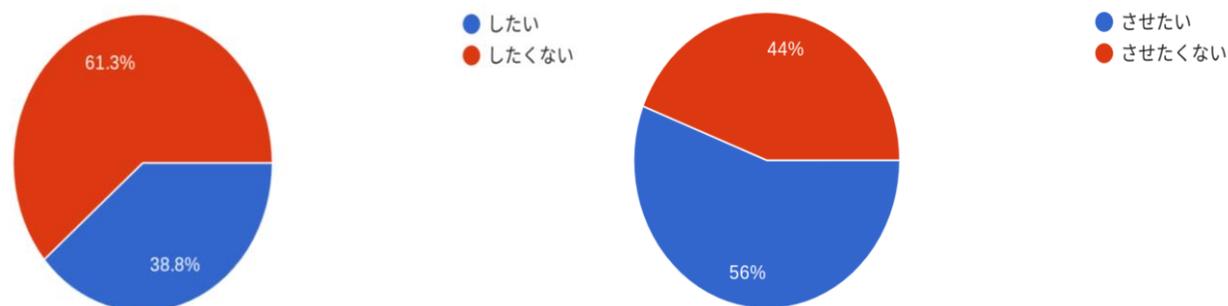
面積	20.33 km <sup>2</sup>
人口	25,866 人
公立中学校数	1 校
公立中学校生徒数	725 人
部活動数	16 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	令和5年度に検討協議会を設置
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	未策定

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

内灘町では現在、協議会を設立し、学校関係者に対してアンケートを行った結果、教員及び児童・生徒の内、60%以上が「休日に部活動を行いたくない」に対して、保護者の内、約55%が「休日にも部活動を行ってほしい」との回答があり、休日は休みたいのに保護者は活動してほしいという現状である。

中学校にある運動部活動のすべての競技において、町スポーツ協会に加盟している協会が存在しているが、地域の受け皿として対応できる競技の数が少ない。

問：あなたは、休日の部活動が学校の活動ではなくなった場合、地域のクラブチーム等に参加しますか（参加させますか）？



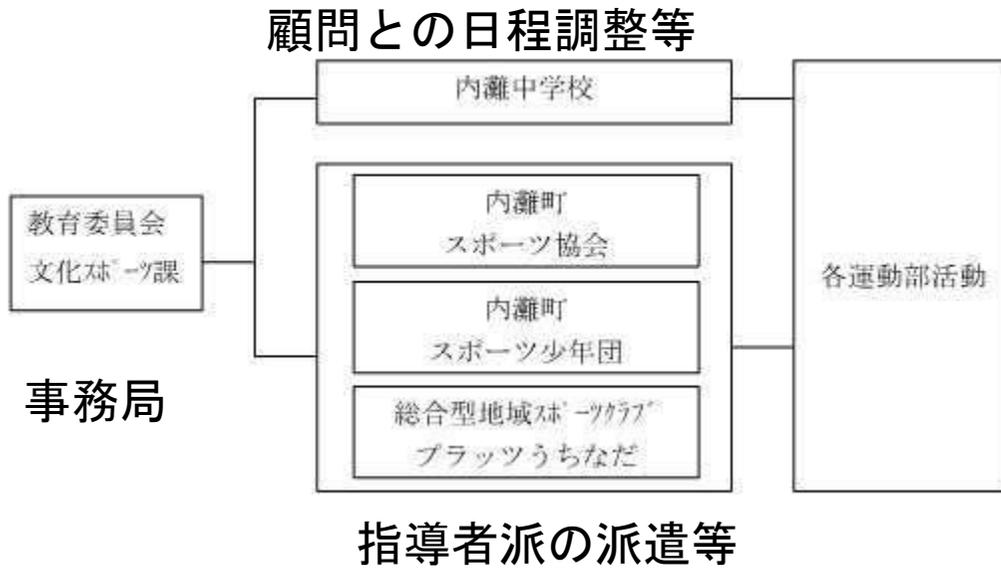
出典：生徒アンケート

出典：保護者アンケート

## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



#### ●行政組織内での役割分担

##### ◎教育委員会

- ・学校関係者との調整
- ・スポーツ団体との調整

##### ◎首長部局

教育委員会内にスポーツ主管課がある

### 年間の事業スケジュール

令和6年6月	指導者講習会
令和6年7月	協議会によるかほく市への視察
令和6年7月	協議会による休日の部活動完全移行の目標時期策定
令和6年10月	競技協会への指導者派遣依頼
令和6年10月	生徒、保護者への証事業説明
令和6年11月	水泳部、男女卓球部地域移行
令和6年11月	剣道部地域移行
令和7年2月	アンケート調査

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

中学校数	1 校	実施した地域クラブ総数	1 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		1 クラブ（4 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0 クラブ
全体の指導者数	11 人	全体の運営スタッフ数	1 人

#### ②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
地域クラブ	教育委員会	卓球 水泳 剣道	月 2～3 回 /週 1 回	8～12 時	1年生41人 2年生18人	R6.11～ R7.2	内灘中学校 屋内温水プール	11 人	2 人 (内、兼務2人)	会費 0 円	全て部活動

#### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 実施無し

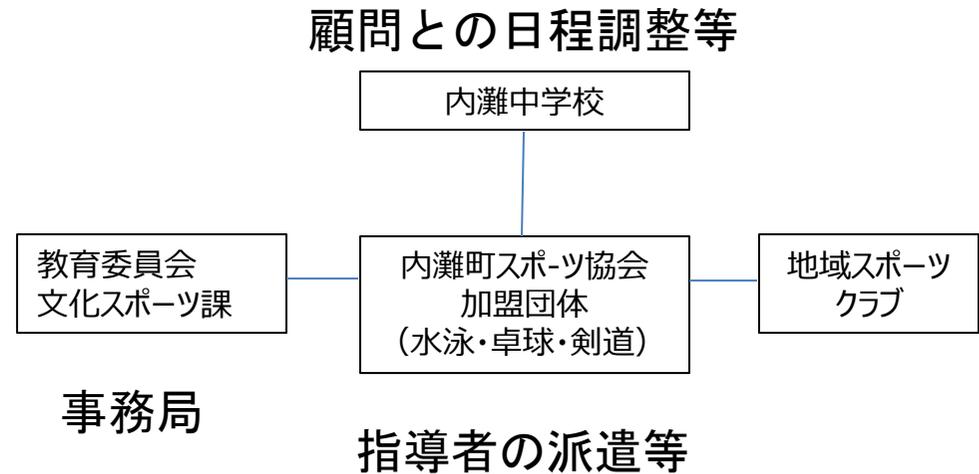
## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ●地域クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	卓球・水泳・剣道
運営団体名	内灘町教育委員会
期間と日数	卓球：11月2日～2月15日 月2回程度 水泳：11月3日～2月16日 月2回程度 剣道：11月29日～2月15日 月2回程度
指導者の主な属性	各競技団体の協会員
活動場所	内灘中学校 屋内温水プール
主な移動手段	保護者による送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	今年度は無し
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

#### ●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



#### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

記入例：

##### ●統括責任者

役割：指導者の出席状況の取りまとめ、謝金の支払いを行う

##### ●主任指導者 10名

役割：部活動顧問との日程調整、生徒から出欠連絡の窓口、競技の指導を行う

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

競技協会から指導者を派遣してもらう際に、1人だけではなく、2人以上を地域スポーツクラブ活動の指導者として派遣してもらうように依頼し、1人だけに負担させるのではなく、継続可能な体制の整備を行った。

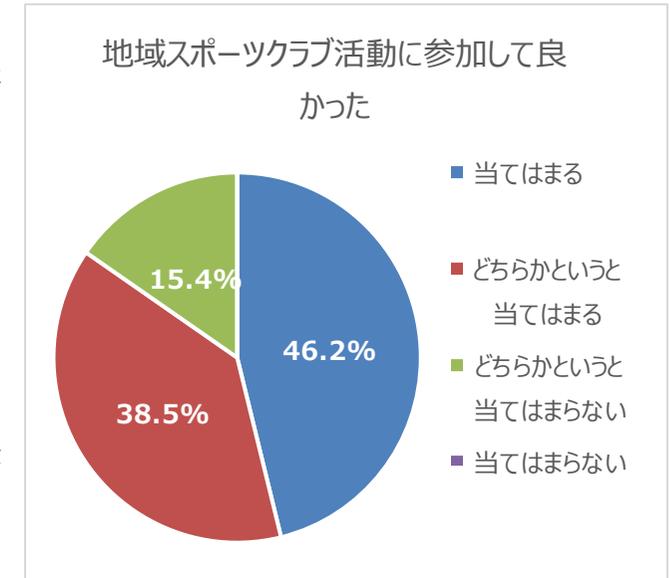
部活動顧問と地域スポーツクラブ活動を行う指導者の指導方針を擦り合わせるための場を設け、指導を受ける生徒が困惑しないようにした。

##### 取組の成果

参加した中学生60人を対象としたアンケートの結果、回答者の84.6%が地域スポーツクラブ活動に参加して良かったと回答した。専門的な指導を受けられることで自身が上手くなっていると実感できた生徒が多かった。

また、休日の部活動が地域スポーツクラブになったことで顧問6人の残業時間が月80時間を超えることがなくなり、平日の授業や指導の準備に充てられる時間を作ることができ、ゆとりをもって仕事に取り組むことができるようになった。

課題としては欠席の連絡が地域スポーツクラブの指導者ではなく、学校に入ることがあるため、連絡方法の確立が必要である。



出典：生徒アンケート

##### 今後の課題と対応方針

地域移行できていない部活動がまだ12部あるため、競技協会に協力してもらえるような調整を行っていくことに加え、協会の練習に参加できるような体制整備を行っていく必要がある。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

**ウ：関係団体・分野との連携強化**

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保 / ウ：関係団体・分野との連携強化

##### 取組事項（イ）

総合型地域スポーツクラブと連携し、指導者講習会を行い、指導者の質の向上を図る。

##### 取組の成果（イ）

令和6年6月にペップトークの講習会を行い、やる気を引き出すための話術を学んだ。生徒に適切な言葉かけをすることで、集中した練習を行うことができ、地域スポーツクラブ活動における質の向上にもつながった。



##### 受講者の声

・言葉かけ一つで生徒が競技を好きになってくれるか変わるというのが心に響いた。今後、指導を行う際に注意していきたい。（男子卓球指導者）  
・思春期の生徒を指導することは難しい部分があるが、生徒一人ひとりの性格を考えて、研修で覚えた言い換え方法を実行していけるように努める。（水泳指導者）

##### 取組事項（ウ）

内灘町スポーツ協会の加盟団体と中学校の顧問と交流を図るための社会体育推進会議を行い、課題を共有することで、競技団体と顧問の連携強化を図る。

##### 取組の成果（ウ）

社会体育推進会議を開催する予定であったが、日程の調整ができず、開催できなかったため、各競技毎で顧問と打合せを行った。協会として地域移行について協力できることや移行に向けての課題点を顧問と共有することで各競技協会と中学校の連携強化を行うことができた。

##### 今後の課題と対応方針

指導者の質を上げていくためには全体の講習会だけではなく、各競技の公認資格を取る必要があるため、公認資格を取得する際の補助を行い、資格取得の促進を促していく。

競技協会と中学校の連携についても継続して話し合いの場を設け、連絡を密に取り合うことで連携を強化していく。

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

地域移行を行った4部活動においては、地域スポーツクラブ活動の指導者が外部指導者として部活動に関わっているため、指導方針や活動時間などに大きな変更がなかったためスムーズに移行できた。

また、地域スポーツクラブ活動を行うことで、生徒が上手くなったと実感できた意見が多く、技術の向上としては良い活動になっている。

しかし、一部の保護者から精神的にも成長できるような指導を行ってほしいという意見があったため、指導者としての質をこれからも向上させていく必要がある。

社会体育推進会議を開催することができなかったが個別に交流の場を設けることで、顧問と競技協会の連携を強化することができたため、これからもこのような場を設けていくことが必要である。

#### ●成果の評価

内灘中学校の運動部活動が16部に対して地域移行できた部活数が4部であり、目標であった8部には届かない結果となってしまった。

地域移行できた部活に関しては80%以上の生徒が地域スポーツクラブ活動を行ってよかったと感じていることは良い点である。

令和8年9月までに休日の地域移行を完了させる目標を設定したが、移行に向けた課題は多数有るため、これから一つずつ解決していく必要がある。

#### ●今後に向けて

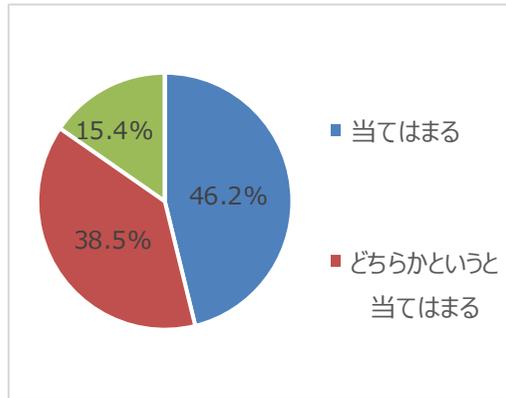
指導者を確保していくために、各競技協会と協力体制を整備することに加え、講習会の開催や資格取得補助を行うことで、指導者として活動できる人を増やしていくことが必要である。

継続可能なクラブとしていくには会費の設定を行う必要があるため、保護者の意見を聞き取りながら協議会で設定していく。

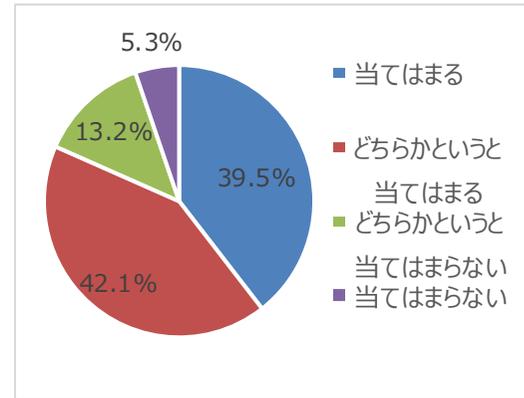
## アンケート結果・参加者の声

### ●アンケート結果

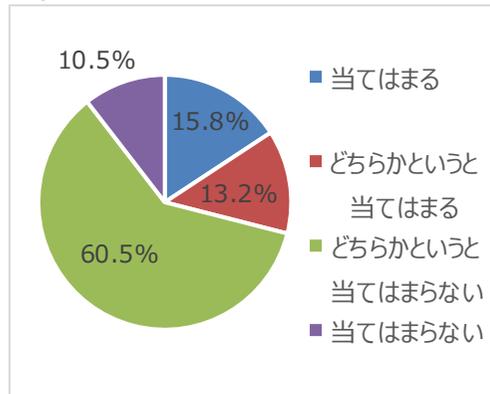
Q1.地域スポーツクラブ活動に参加して良かったですか？



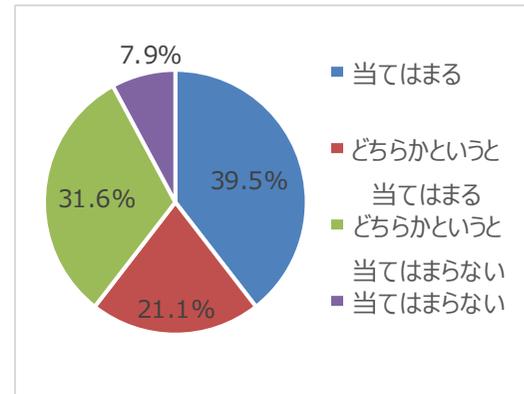
Q2.地域スポーツクラブ活動を自由参加とした場合、積極的に参加しますか？



Q3.部活動は、曜日にかかわらず学校の教員による指導が良いと思いますか？



Q4.休日は外部指導コーチのみによる地域クラブ活動に移行しても良いですか？



### ●参加者の声

#### 中学1年生

専門的な指導を受けられたことで、自分のタイムが早くなり、上手くなっていることを実感できた。

#### 中学1年生

顧問の先生がいる平日の部活動に比べて、地域スポーツクラブ活動だとふざけてしまう部員がいるので、顧問の先生が見てくれた方がいい。

#### 中学2年生

顧問の先生とは違う見方で自分の弱点を見つけられて直すのに協力してくれるから地域スポーツクラブ活動に参加して良かった。

#### 指導者（など）

指導自体はしっかり行うことができるが、毎回出席できるわけではないため、地域スポーツクラブ活動の指導者は最低2人以上必要だと思う。

## アンケート結果・広報資料

内灘町における地域移行の方針で、令和8年9月までに休日の地域移行を完全実施することを目標することを周知した。

実証事業を行った部活動の生徒及び保護者にアンケートを行った結果、生徒と保護者で食い違いは見受けられず、生徒と同様に保護者も地域スポーツクラブ活動を行ってほしい意見が多かった。

### 中学校部活動の「地域移行」について

中学校の部活動は学校教育の一環として長年取り組まれていますが、近年の少子化などの影響により部員数の減少や廃部になるなど、現在の部活動の形態を継続することが難しくなっています。  
また、部活動の顧問となる教職員の長時間勤務についても課題となっています。  
そこで国が目指す姿としては、少子化の中でも生徒がスポーツ・文化活動に継続して関与する機会を確保し、学校における働き方改革を推進し、さらに学校教育の質も向上させることを掲げています。  
内灘町教育委員会が目指す「地域移行の在り方」について、今後広報を通じてご紹介します。

**部活動の地域移行とは（文部科学省の方針）**  
近年、少子化による生徒の減少に伴い、部活動所属生徒によるチーム編成が困難となり、現在の部活動の形態を継続していくことは難しい現状です。  
また、部活動が教職員の長時間勤務の要因の一つでもあることや、経験のない競技・活動を指導することが大きな負担となっていることなど、学校における働き方改革が進む中で、教職員の負担となる指導体制は難しい状況となっています。  
このことから、文部科学省は生徒の多様なニーズに応じたスポーツ・文化活動に申し込む機会を確保するため、ガイドラインを策定、令和5年度から7年度までの3か年を「移行推進期間」とし、まずは「休日の部活動を地域移行させる」方針を示しています。

### 内灘町の方針

すべての部活動を一斉に地域移行するのではなく、段階的に進めていきます。

現在	月	火	水	木	金	土	日
○	○	○	×	○	○	○	×

○ 学校部活動  
× 休み  
● 地域クラブ活動

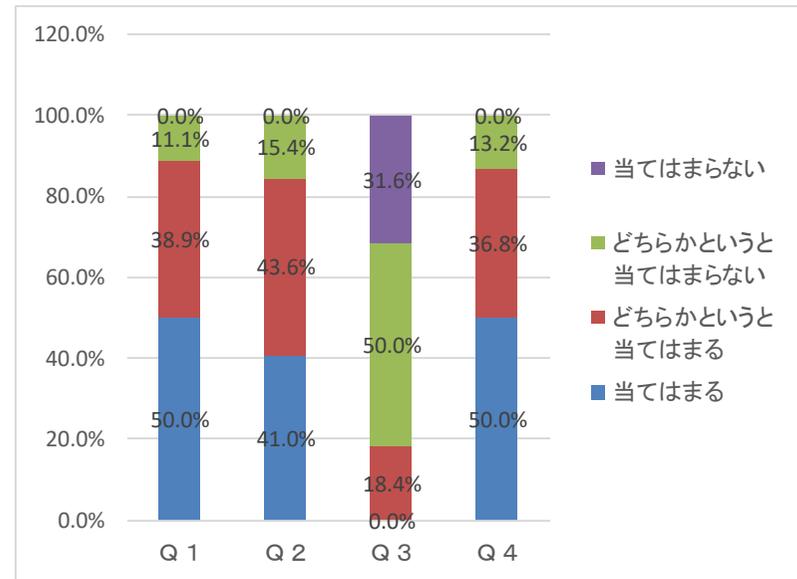
↓ 体制が整った部活動から段階的に移行

今後	月	火	水	木	金	土	日
○	○	×	○	○	○	●	×

現在、各スポーツ団体および文化団体との意見交換を重ねながら、まずは休日の部活動を地域移行させるための準備を進めているところです。体制が整った部活動から段階的に休日の活動を地域クラブへ移行し、令和8年9月には休日の地域移行を完全実施できるよう進めてまいります。

【内灘町の地域移行の方針について】

出典:広報うちなだ2024年10月号

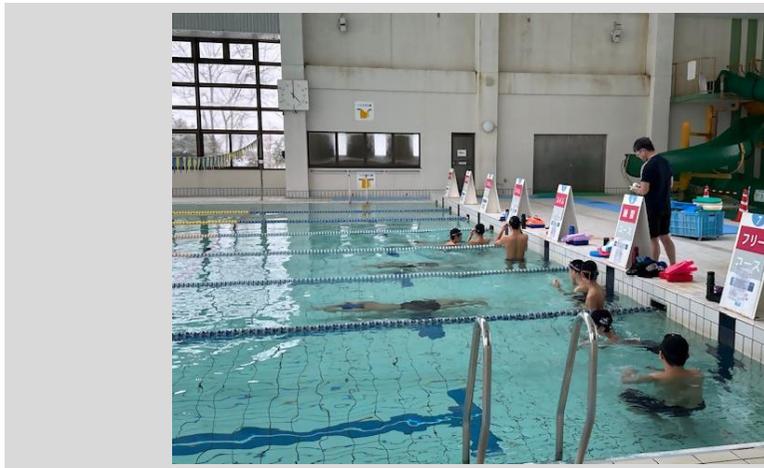


【アンケート結果】

出典:保護者アンケート

## 2.実証内容と成果④

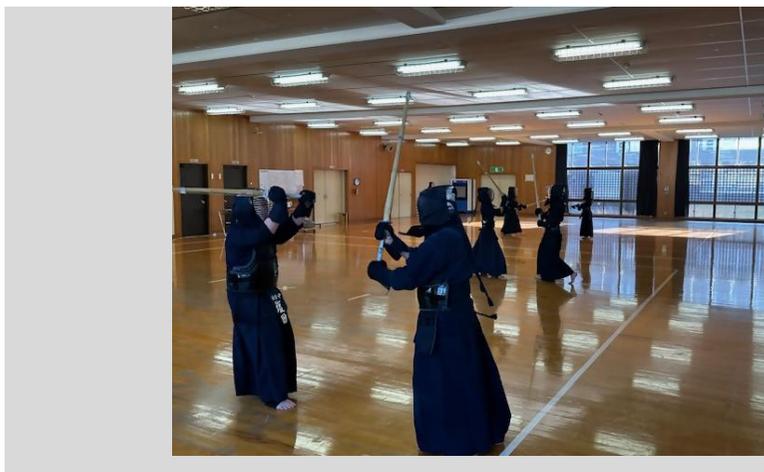
### 参考資料（活動写真）



【水泳部】



【卓球部】



【剣道部】



【指導者講習会】

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

#### 令和5年

11月に内灘中学校の部活動における地域移行に関する協議会を設立し、休日の部活動を地域スポーツクラブ活動に移行するための検討を開始。

#### 令和5年

協議会設置、  
検討開始

関係者への  
ヒアリング

11月に学校関係者（中学1・2年、小学5・6年、保護者、中学校職員）へアンケートを行い、12月に地域団体（スポーツ協会、スポーツ少年団、文化協会）へアンケートを行い、部活動に対する考え方や、地域団体の現状把握を行った。

#### 令和6年

協議会において、令和8年9月までに部活動の休日活動を停止し、地域スポーツクラブ活動へ移行する目標を設定。  
外部指導者がいる部活動から中心に、移行準備ができた部活から順次移行していく方針を進める。

#### 令和6年

推進計画の策定、運営団体の選定

学校現場との調整

顧問と外部指導者が打ち合わせを行い、外部指導者が指導できない日や練習試合、大会等は部活動として行い、それ以外は地域スポーツクラブ活動として行うように調整した。

地域移行実証事業を行う4つの部活動の生徒及び保護者へ活動する場所や時間は変わらないが、責任者が外部指導者となり、出欠の連絡手段が変更になることを説明した。

#### 令和6年

生徒、保護者への説明

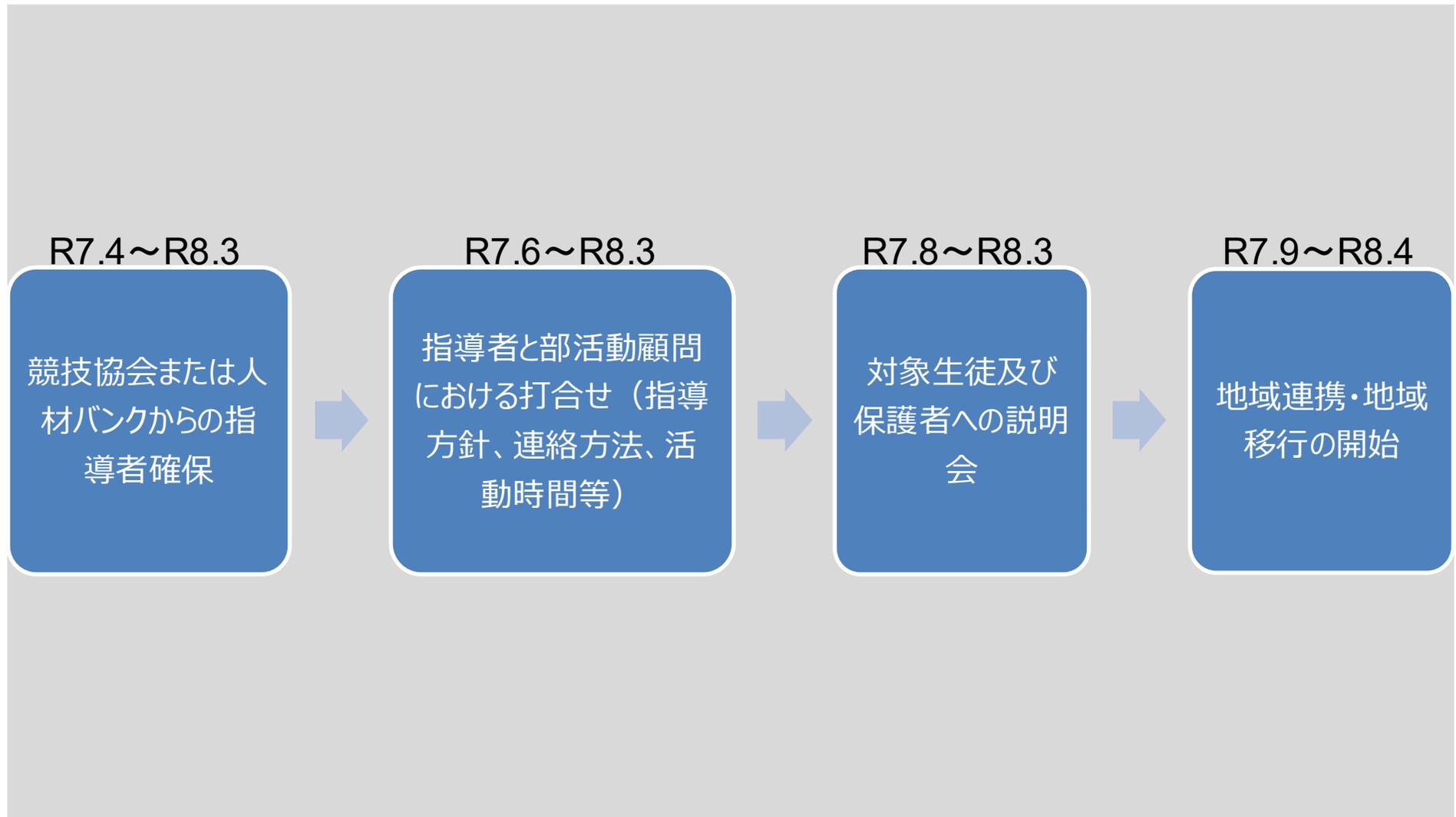
地域クラブ活動の開始

#### 令和6年

水泳、男女卓球、剣道において休日の部活動を地域スポーツクラブ活動として行うようになった。

### 3. 今後の方向性

#### 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ



令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 石川県志賀町

自治体名：石川県志賀町

担当課名：学校教育課

電話番号：0767-32-9360

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

面積	246.76 km <sup>2</sup>
人口	17,941 人
公立中学校数	2 校
公立中学校生徒数	372 人
部活動数	18 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	有 令和5年
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	令和7年度中に策定予定

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

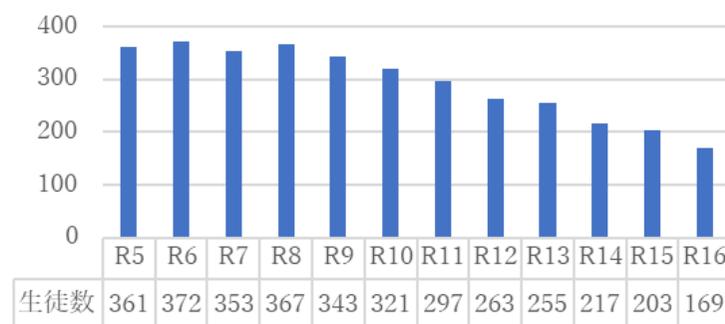
### 現状

- ・部活動の地域移行に係る生徒、保護者、教員アンケートの実施（令和5年9月）
- ・部活動検討委員会の開催（令和5年11月、令和6年11月）
- ・土曜日の部活動の地域移行の試行開始（令和6年6月～）

### 課題

- ・現在、生徒数の減少により多様な部活動が維持できない中学校がある。
- ・生徒数の減少は今後も見込まれ、部活動の在り方の見直しが必要である。
- ・部活動の地域移行にむけて地域のスポーツ・文化協会やその所属団体と連携を強化していく。
- ・地域のスポーツ指導者として活動できる人材が少ないため、指導者等の人材の確保や育成を図っていく必要がある。
- ・令和6年能登半島地震により町内体育施設の一部が現在も使用できない状態であり、地域移行の際の活動場所を確保する必要がある。

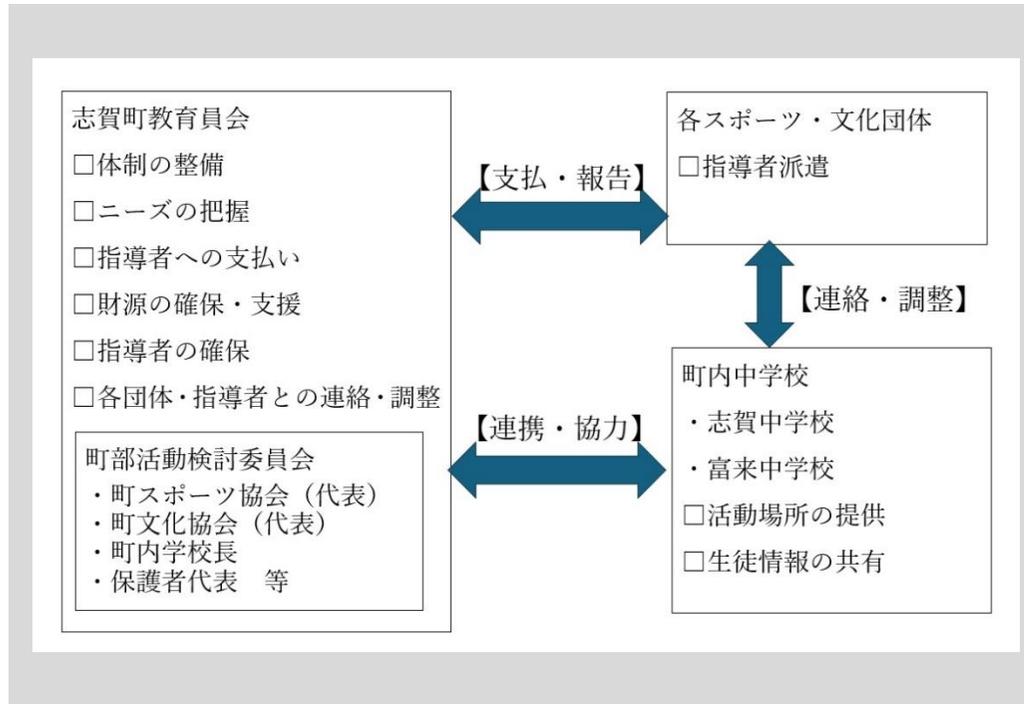
志賀町における中学校生徒数の推移  
(R7以降は見込)



## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



#### ●行政組織内での役割分担

##### ◎教育委員会

- ・学校との協議（休日部活動の日程、活動場所の調整・連絡）
- ・指導者、協力団体の確保・連絡調整
- ・生徒、保護者への周知

### 年間の事業スケジュール

令和6年6月	土曜日部活動の地域移行試行① (志賀中バレー部)
令和6年7月	土曜日部活動の地域移行試行② (志賀中バレー部)
令和6年9月	土曜日部活動の地域移行試行③ (志賀中バレー部)
令和6年10月	土曜日部活動の地域移行試行④ (志賀中バレー部)
令和6年11月	土曜日部活動の地域移行試行⑤ (志賀中バレー部) 町部活動検討委員会
令和6年12月	土曜日部活動の地域移行試行⑥ (志賀中バレー部)
令和7年1月	土曜日部活動の地域移行試行⑦ (志賀中バレー部)
令和7年2月	土曜日部活動の地域移行試行⑧ (志賀中バレー部)

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

中学校数	2校	実施した地域クラブ総数	1クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		1クラブ（1部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0クラブ
全体の指導者数	1人	全体の運営スタッフ数	1人

#### ②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
志賀バレーボールクラブ	町行政	バレーボール	月1回	8:30 ～ 11:30	中学生 中1 8人 中2 4人 中3 9人	6月～ 7月	志賀中学校体育館	1人	1人	なし	中体連：部活動

#### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

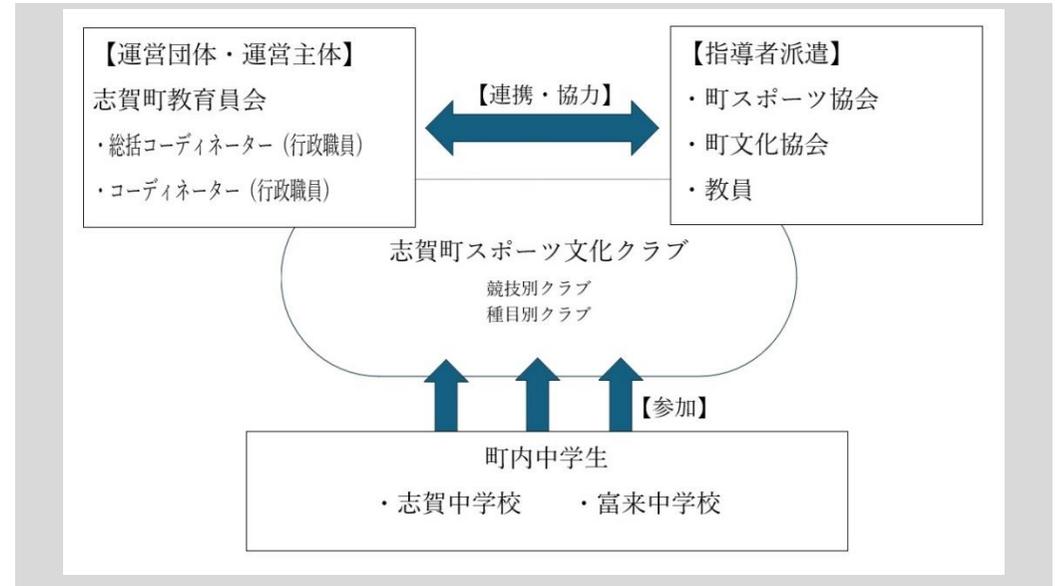
とくになし

## 主な取組例

### ● 志賀バレーボールクラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	バレーボール
運営団体名	志賀町教育委員会
期間と日数	6月～2月 月1回程度
指導者の主な属性	町バレーボール協会
活動場所	志賀中学校体育館
主な移動手段	徒歩、自転車、保護者による送迎
1人あたりの参加会費等(年額)	なし
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年

### ● 運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



### ● 指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 統括責任者
  - 役割：指導者がスポーツ文化団体との連絡調整を行う
- 主任指導者 1名
  - 役割：練習メニューを計画し、中心となって指導を行う
- 指導補助者 3名
  - 役割：練習指導補助を行う

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

##### 取組事項

- 町部活動検討委員会や町スポーツ協会理事会等の会合の機会を捉えて、部活動の地域移行の必要性について説明した。  
生涯にわたってスポーツや文化活動に親しむことができる環境整備に向けて「子供を地域で育てる」意識の醸成を図った。
- 町のスポーツ団体の会員に地域スポーツクラブの指導者としての役割を果たしてもらうために、中学校部活動の練習環境や中学生の実態について説明したり、部活動の様子を視察してもらったりした。
- 土曜日の部活動において月1回程度、町バレーボール協会の会員による指導をしていただいた。生徒と町バレーボール協会の指導者とをつなぐ役割を部活動顧問（教員）に依頼した。6月から2月までに8回実施することができた。

##### 取組の成果

- はじめは、スポーツ協会指導者、生徒ともコミュニケーションに戸惑う場面もあったが、回数を重ねるうちに信頼関係ができ、スムーズに練習できるようになってきた。指導者の生徒への声掛けも肯定的な言葉が多く、意欲を引き出す工夫をしている様子が見られた。
  - ・生徒アンケート「これからもバレーボール協会の方々に指導してもらいたいと思いますか」 肯定的評価 100%
- バレーボール協議に専門的な知見を持つ指導者が指導するため、教員の負担感が減少した。

##### 指導者研修について

- 令和6年度は、顧問教諭の同席のもとでの活動であったため、指導者向けの研修を行わなかった。  
地域の指導者のみで活動を行うことを想定し、今後、指導者研修を計画していく。

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

令和6年能登半島地震の影響で地域のスポーツ文化団体の活動場所の制限や活動する時間的、精神的ゆとりがない中で、多くの協力団体を募ることが難しかった。

こうした中で、町バレーボール協会に協力を得ることができ、志賀中学校バレーボール部の休日部活動の地域移行に向けて第一歩目をスタートすることができた。

地域の方々が、中学生のスポーツ指導に積極的に関わっていくためには、中学生を指導するためのコミュニケーションスキルや生徒理解が必要となる。部活動の地域移行を推進していくためには、地域の方々にその必要性や意義を理解していただくと同時に、中学生を指導することの不安を軽減していくことも必要である。

今年度、月1回程度の開催ではあるが、地域の指導者が中学生の部活動に関わる機会をつくることができたことは、今後の部活動の地域移行に向けて意味があることだと考える。

#### ●成果の評価

地域の指導者の方に話を伺うと、はじめは中学生への指導やコミュニケーションに難しさを感じていたそうである。

しかし、指導の回数を重ねるうちに徐々に打ち解けていく様子が見られ、中学生のスポーツ指導に今後も携わってもよいと思っていただくことができた。

地域のスポーツ振興に関わる部活動地域移行の意義について一定の理解をしていただいた上で、中学生のスポーツ指導について持続的な関わりを持っていただけることは、本町の部活動の地域移行のモデルとなりえるものと考えます。他のスポーツ団体についても今年度の成果について説明し、協力団体を増やしていきたい。

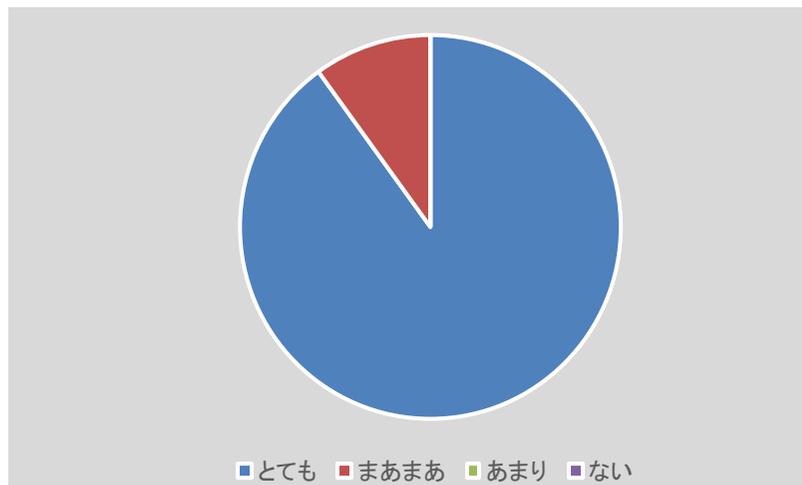
#### ●今後に向けて

- ・土曜日の部活動の地域移行に向けて、地域クラブとして活動できる部活動数を増やしていく。
- ・他市町の地域移行事業の情報を収集し、本町に取り入れることができる取組を実施していく。

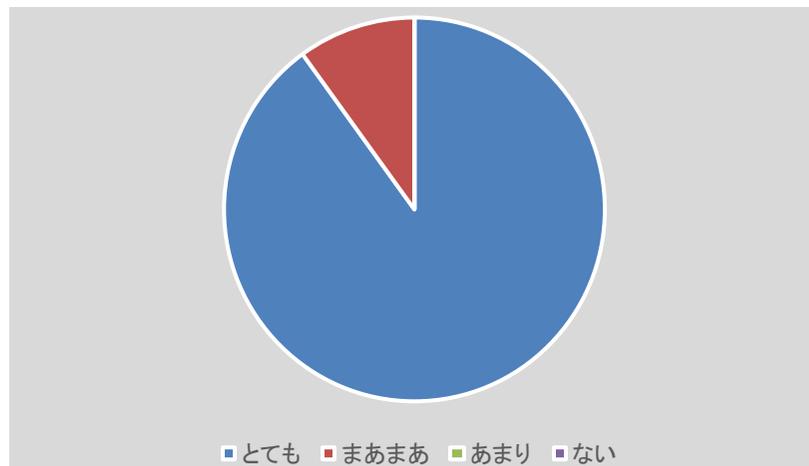
### アンケート結果・参加者の声

#### ●アンケート結果

Q.地域の方がの指導は、自分のためになったと思いますか？（生徒）



Q.今後も地域の方に指導してもらいたいと思いますか？（生徒）



#### ●参加者の声

##### 中学生

楽しみながらうまくなれるので、これからも続けていきたいと思いました。

##### 中学生

バレーボールの技術を分かりやすく教えてもらったので、上達したような気がします。

##### 中学生

自分の課題をズバツと言ってくれたのでありがたかった。とても楽しかった。

##### 指導者

月1回の指導に関しては、中学生が少しでも上達して、バレーを楽しくできるといいなと思っているが、時間に限りがあり、毎週の指導はたいへんである。

##### 指導者

生徒たちが上達していくのを感じることができた。バレーボールを楽しんでもらっていることがうれしく思う。

## 2.実証内容と成果④

### 参考資料（活動写真）



【志賀中バレー部休日地域移行①】



【志賀中バレー部休日地域移行②】



【志賀中バレー部休日地域移行③】



【志賀中バレー部休日地域移行④】

### 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和5年

協議会設置、  
検討開始

受け皿団体や  
指導者の選定、  
実施部活動の  
選定

令和6年

学校現場との  
調整  
指導者との調  
整

休日部活動の地  
域移行の試行

令和7年

休日部活動の地  
域移行試行の拡  
大  
保護者説明

令和8年

地域クラブ活動  
の開始

#### ●ステークホルダー

町スポーツ協会、町文化協会

#### ●経過

令和5年11月の部活動検討委員会において部活動の現状と地域移行の必要性について説明した。

#### ●実施にあたって生じた課題

児童生徒や保護者がどのようなニーズを持っているかの把握  
地域において指導できる方の把握

#### ●実施内容、工夫した点等

事前に児童生徒、保護者、教員アンケートを実施し、その結果を示した。また、地域移行の実施のイメージ図を示し、地域の指導者の掘り起こしをお願いした。

#### ●ステークホルダー

町スポーツ協会所属のスポーツ団体

#### ●経過

休日の運動部活動の地域移行に係る取組として、各スポーツ協会に土曜日の部活動の指導を依頼した。

#### ●実施にあたって生じた課題

地域のスポーツ団体における生徒を指導できる人材量や経験の不足

#### ●実施内容、工夫した点等

土曜日部活動の地域移行の取り掛かりとして地域の指導者に部活動の様子を見てもらうこととした。視察から指導へと段階的に関わってもらうために、はじめから学校から離れた地域クラブとして取り組むのではなく、部活動顧問を介して指導に慣れてもらうようにした。

# 3. 今後の方向性

## 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

志賀町立中学校の部活動地域移行ロードマップ

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度～
地域移行の様態	<ul style="list-style-type: none"> <li>○部活動指導員の活用</li> <li>○地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業（実証事業）参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○部活動指導員の活用 運動部7 文化部0</li> <li>○休日部活動の地域移行開始（志賀中バレー部） ※地域指導者、顧問教員</li> <li>○実証事業2年目</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○部活動指導員の活用 運動部8 文化部1</li> <li>○休日部活動の地域移行の推進（3部活） ※地域指導者、顧問教員</li> <li>○実証事業3年目</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○部活動指導員の活用</li> <li>○休日部活動地域移行完了 ※地域クラブの整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平日部活動の地域移行</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>○検討委員会開催準備</li> <li>○地域人材の情報収集</li> <li>○指導者マッチングの調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実証事業の検証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域移行予算の確保</li> <li>○地域団体との調整 ※生徒・保護者への周知</li> <li>※受益者負担の検討</li> <li>○実証事業の検証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域クラブ指導者の確保</li> <li>○指導者の研修</li> <li>○地域クラブ費用取扱い事務</li> </ul>	
部活動検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ニーズの把握 ※児童生徒、保護者、教員アンケート実施9月</li> <li>○地域移行の取組イメージ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域移行推進計画検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域移行推進計画の策定</li> <li>○地域クラブガイドライン検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域クラブのガイドラインの作成・策定</li> </ul>	

\*実態に即した地域移行を推進する。 \*できることから実践していく。（トライ&エラー）

令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 石川県 中能登町

自治体名：石川県中能登町

担当課名：学校教育課

電話番号：0767-76-2808

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

面積	89.45 km <sup>2</sup>
人口	16,896 人
公立中学校数	1 校
公立中学校生徒数	461 人
部活動数	16 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	未設置
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	未策定

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

現状：部活動（運動部 16、文化部 3）にほぼ生徒全員が加入している。

競技によっては少子化の影響もあり、充実した活動が実施できなくなっているほか、団体競技に支障がでてきている。

部活動顧問は担当する部の競技者でない場合も多く精神的負担があったり、質の高い専門的な指導がされない状況であった。

また休日の指導にあっても時間的拘束が長時間にわたることも働き方改革を進めるうえで障害となっている。

### 中能登中学校生徒数推移（見込み）

平成25年	平成28年	令和元年	令和4年	令和7年	令和10年
516人	554人	479人	489人	409人	386人

## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



#### ●行政組織内での役割分担

##### ◎教育委員会

- ・部活動顧問との連絡調整
- ・町総合型地域スポーツクラブ推進委員会の実施
- ・町スポーツ協会、町スポーツ少年団、競技団体との連絡調整
- ・外部指導者への謝金支払い、スポーツ保険加入手続き

##### ◎首長部局

- ・町予算編成による財源額補

### 年間の事業スケジュール

令和6年4月	部活動地域移行説明会 (教員向け)
令和6年4月	スポーツ保険加入手続き
通年	関係団体との調整
令和6年10月	町総合型地域スポーツクラブ 推進委員会(第1回)
令和6年11月	町総合型地域スポーツクラブ 推進委員会(第2回)
令和6年12月	町総合型地域スポーツクラブ 推進委員会(第3回)
令和7年1月	町総合型地域スポーツクラブ 推進委員会(第4回)

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

中学校数	1校	実施した地域クラブ総数	3クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		3クラブ （バスケットボール、陸上2）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		1クラブ
全体の指導者数	20人	全体の運営スタッフ数	5人

#### ②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
ディアーズ 中能登クラブ	地域のクラブチーム	バスケットボール	週3回	平日夕方 休日午前	3年：6人 2年：5人 1年：9人	令和6年 4月～	中能登中学校	4人	8人 （うち兼務4人）	年会費 12,000円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
中能登 B.A.C	地域のクラブチーム	陸上（短距離等）	週5回	平日夕方 休日午前	3年：4人 2年：8人 1年：7人	令和6年 4月～	中能登中学校 町体育施設	4人	4人	180円/回	中体連：部活動 その他：地域クラブ ※一部生徒は中体連大会も地域クラブから参加
能登AC	地域のクラブチーム	陸上（長距離）	週3回	平日夕方 休日午前	3年：6人 2年：6人 1年：2人	令和6年 4月～	中能登中学校 町体育施設	2人	2人	年会費 5,000円	中体連：部活動 その他：部活動または地域クラブ

#### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

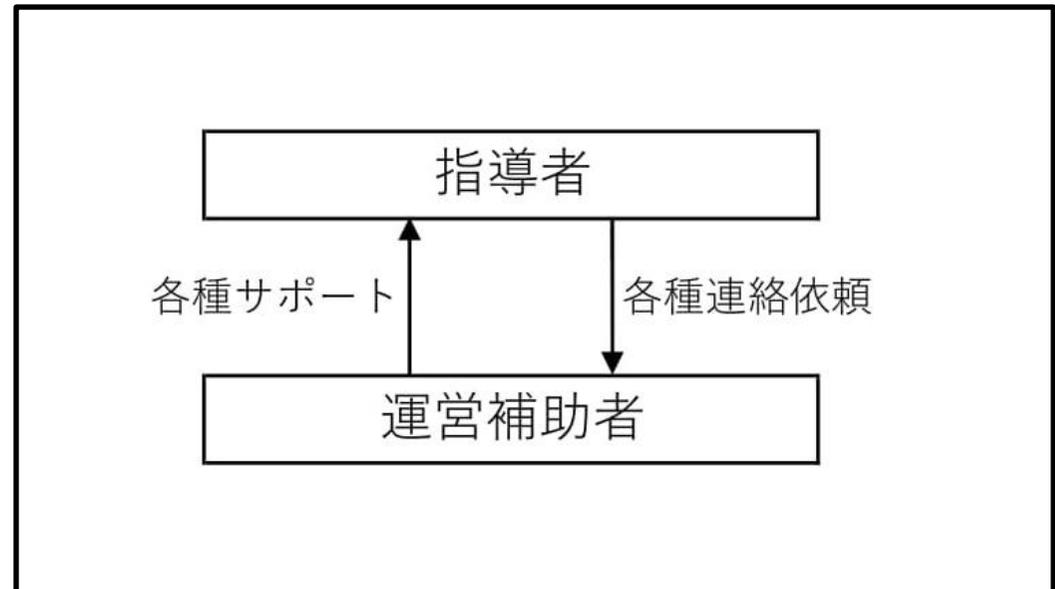
特になし

## 主な取組例

### ●ディアーズ中能登クラブ活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	バスケットボール
運営団体名	ディアーズ中能登クラブ
期間と日数	水曜日19:00～21:00 土曜日19:00～21:00 日曜日 9:00～12:00
指導者の主な属性	施設職員、教員
活動場所	中能登中学校アリーナ
主な移動手段	現地集合
1人あたりの参加会費等(年額)	12,000円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

### ●運営体制図(地域クラブ活動を実施する際の運営体制図)



### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

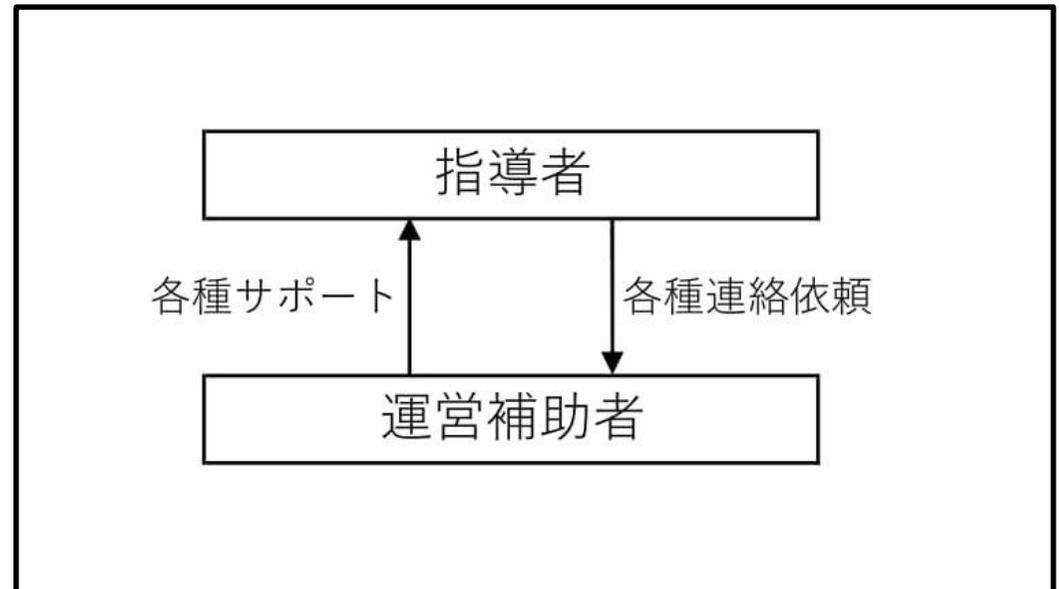
- 指導者 4名  
役割：会場確保、事務連絡、大会申し込み、保険申し込み
- 運営補助者 4名  
役割：事務連絡、練習補助

## 主な取組例

### ●能登B.A.C 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	陸上（短距離）
運営団体名	能登B.A.C
期間と日数	火・水・木曜 17:00～19:00 土・日曜日 9:00～12:00
指導者の主な属性	自営業
活動場所	中能登中学校グラウンド
主な移動手段	現地集合
1人あたりの参加会費等（年額）	180円／回
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

### ●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

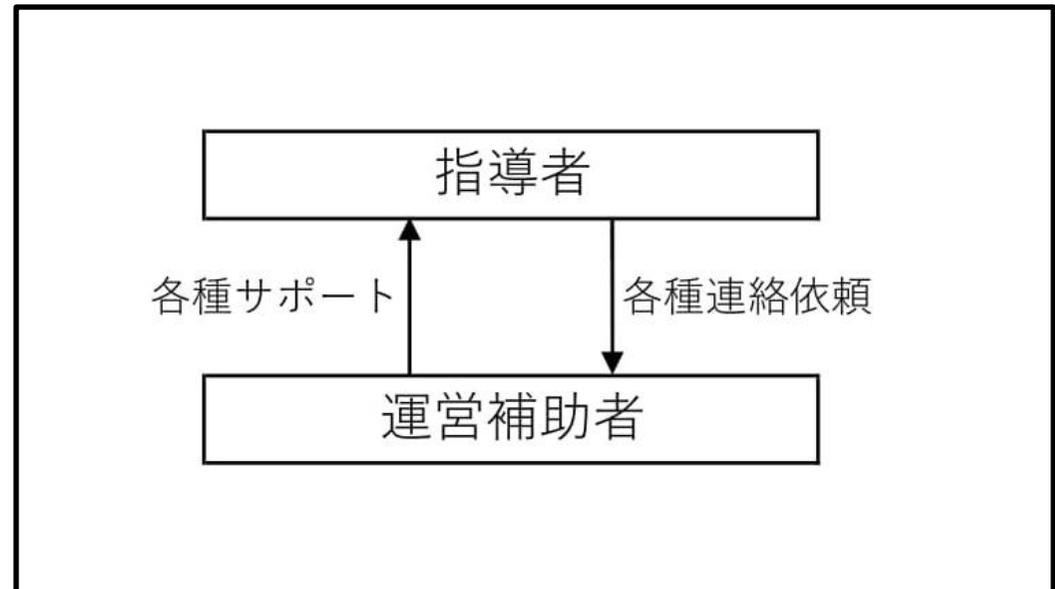
- 指導者 1名  
役割：指導、会場確保、事務連絡、大会申し込み、保険申し込み
- 運営補助者 4名  
役割：事務連絡

## 主な取組例

### ●能登AC 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	陸上（長距離）
運営団体名	中能登AC
期間と日数	水曜日 18:00～20:00 土・日曜日 9:00～12:00
指導者の主な属性	地方公務員
活動場所	中能登中学校グラウンド
主な移動手段	現地集合
1人あたりの参加会費等（年額）	5,000円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

### ●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 指導者 2名  
役割：指導、会場確保、事務連絡、大会申し込み
- 運営補助者 4名  
役割：事務連絡、練習補助、保険申し込み

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

令和4年度に実施した部活動地域移行に関する意識調査の結果を踏まえ、町教育委員会が主体となって部活動顧問、町スポーツ協会、競技団体、スポーツ少年団との情報共有及び移行に関する連絡調整を実施する。

##### 取組の成果

1. 競技団体と部活動顧問との調整により指導方針の共有が図られた。
2. 専門性の高い指導が受けられた。
3. 競技力の向上が図られた。
4. 競技初心者でも基礎から学ぶことができた。
5. 部活動顧問の休日出勤の低減した。
6. 競技団体内の世代間の意思疎通の活性化が図られた。

##### コーディネーターの具体的な動きの実績

競技団体と部活動顧問との調整役（部活動ごとの個別協議の開催）

・協議内容

- 町スポーツ外部指導者規程の説明
- 指導者の選定
- 運営に係る協議など

##### 今後の課題と対応方針

持続可能な活動となるよう体制整備の強化に取り組む

- 新たな指導者の発掘と育成
- 指導者人数を複数にすることによる個人への負担の軽減

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

**ウ：関係団体・分野との連携強化**

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保 / ウ：関係団体・分野との連携強化

##### 取組事項（イ）

- ・指導者の適性の担保
- ・部活動顧問と指導者との指導方針の調整
- ・指導者の複数人数の確保

##### 取組の成果（イ）

- ・指導者の適性を担保するため競技団体から指導者の推薦を受け、町スポーツ協会による書類審査及び面談を実施した。
- ・指導に先立ち部活動顧問と面談し意思疎通を図った。
- ・競技団体より指導者の複数人の推薦を得た。
- ・ハラスメントに対する理解を深めた。
- ・勝利至上主義でない旨の周知を図った。

##### 取組事項（ウ）

- ・町スポーツ協会、競技団体、スポーツ少年団との連携する場としての会議の開催

##### 取組の成果（ウ）

- ・小学生と合同練習することで競技人口の拡大と技術向上が図られた。
- ・競技団体内の世代間の問題意識の共有と意思疎通の活性化が図られた。
- ・町スポーツ協会における部活動の情報把握の迅速化が図られた。
- ・部活動の受け皿としての総合型地域スポーツクラブ設立に向けた準備体制の構築が図られた。

##### 今後の課題と対応方針

- ・平日移行を踏まえた指導者の確保
- ・競技団体への働きかけ
- ・平日移行した場合の指導者が所属する勤務先の理解促進

## 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



### ●部活動地域移行に向けた検討会

中学校長、中学校PTA会長、町スポーツ協会理事長、町文化協会会長、町教育長、町学校教育課長、町生涯学習課長から構成する検討会を設置

### ●方針決定

土日の部活動地域移行について、移行可能な部活動から段階的な地域移行とする

### ●実施にあたって生じた課題

- ①町の実状にあった地域移行の方向性(方針)の決定
- ②指導者の確保など

### ●実施内容、工夫した点等

上記検討会開催(2回)  
指導者座談会(1回)開催  
意識調査の実施(対象:ジュニアスポーツ協会、ジュニアスポーツクラブ、教員、外部指導者、中学校1・2年、同保護者)

### ●部活動関係者打ち合わせ会の実施

部活動ごとに顧問、外部指導者、競技団体、町スポーツ協会との情報交換

### ●経過等

関係者打ち合わせを通じて機運の醸成を図った  
外部指導者リストの提出  
兼職兼業の周知  
時期を見計らって、休日の部活動において外部指導者の導入を促進した  
スポーツ安全保険の加入

### ●実施にあたって生じた課題

- ①受け皿づくりのため推進体制強化
- ②関係者への制度理解促進、検討

### ●クラブ組織の検討

移行可能な競技における組織移行全体を包括する組織の検討

### ●経過

役場職員で構成する町総合型地域スポーツクラブ推進委員会を設立

### ●実施にあたって生じた課題

クラブ理念の検討、組織体制の検討(マネージャーの選定含む)  
財源問題(受益者負担含む)  
指導者の後継者確保  
広報の検討  
(関係者の不安・懸念の払拭)

### ●実施内容、工夫した点等

地域スポーツ活動アドバイザー派遣の活用  
長崎県長与町金崎良一教育長による特別講義の受講  
対象:上記推進委員会委員  
令和6年11月20日・21日

# 3. 今後の方向性

## 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

### 部活動地域移行・受け皿の整備に向けたロードマップ

	R4	R5	R6	R7	R8	R9
目標			休日の地域クラブ活動の開始	休日部活動の廃止	総合型地域スポーツクラブ創立	総合型地域スポーツクラブ委託
	地域移行検討開始	各部活動へ外部指導者の配備	休日部活動の廃止目処	休日以外の段階的移行	休日以外の完全移行目処	全部活動の廃止
			休日以外の段階的移行開始			
教育委員会	検討会の実施	外部指導者規則の制定	部活動別検討会の実施	地域スポーツ・文化活動の環境整備の推進	部活動指導員制度の廃止	
	関係各所への説明・周知	指導者の確保	新規ジュニアスポーツ・文化クラブの認定			
	意向調査の実施 (生徒・保護者・教員・外部指導者・各協会・ジュニアスポーツクラブ)	活動場所の確保	ジュニアスポーツ・文化クラブの認定及び各種要項の改定			
		関係各所への説明・周知				
		教師の兼職兼業の整備				
その他関係各所		スポーツ協会からの指導者の推薦	各部活動での保護者へのクラブ化の説明・周知			
			文化協会による受け皿の整備			

令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 石川県穴水町

自治体名：石川県穴水町

担当課名：教育委員会事務局

電話番号：0768-52-3710

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

面積	183 km <sup>2</sup>
人口	6,888 人
公立中学校数	1校
公立中学校生徒数	108 人
部活動数	8 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済み
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定中

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

令和5年度より地域移行実証事業に取り組み、学校、町スポーツ協会、各競技団体、PTAと連携し土日の部活動に指導者の派遣を実施してきた。

アンケート調査によって、専門的な練習や教員の負担軽減に効果があったことが示されている。

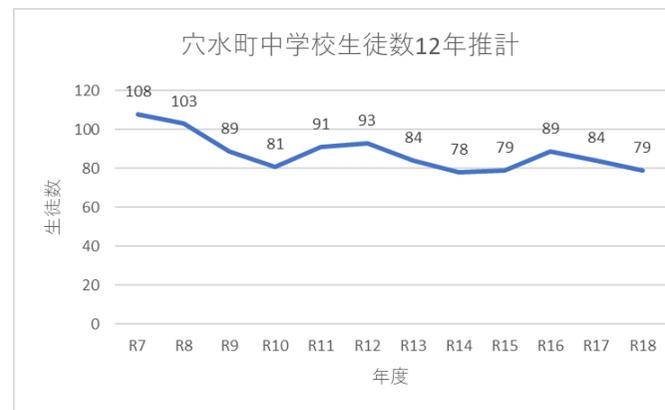
しかしながら、予定していた競技のすべてに指導者を配置することができていない。

利用としては、各競技団体から土日の活動に指導できる指導者を推薦できていない状況にある。

勤め先の勤務時間外労働や仕事のシフトの関係で、継続的に指導することができないため推薦にいたっていない。

また、令和6年能登半島地震により指導者になりうる方が町外に流出したことや災害によって勤務地等が変更になるなど予定していた候補者が推薦できなかった。

引き続き指導者の推薦、配置が課題となっている。



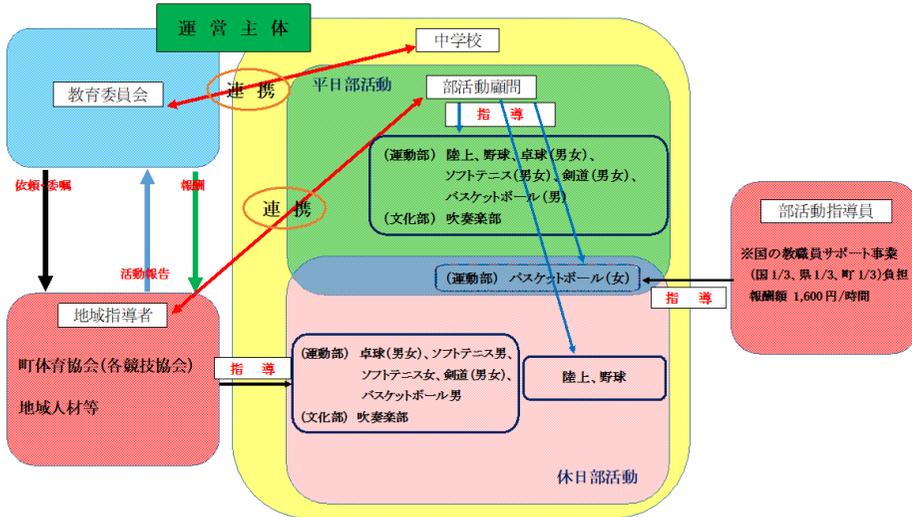
### 【課題】

- ・指導者の確保
- ・児童生徒数の減少により部活動の存続が難しい
- ・中学校が1校のみで広域的な活動ができない

## 運営体制・役割

### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）

（穴水町）部活動地域移行体制イメージ図



### ●行政組織内での役割分担

#### ◎教育委員会

- ・競技団体との連絡
- ・指導者の報酬等の支払

## 年間の事業スケジュール

令和6年4月	昨年度に引き続き指導を実施依頼 （各競技協会会長に対し、指導者 推薦を依頼）
令和6年5月	指導者に対して研修を実施
令和7年1月	生徒アンケート実施
四半期ごと	教職員の時間外労働時間調査

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

中学校数	1校	実施した地域クラブ総数	4クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		4部活
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0クラブ
全体の指導者数	4人	全体の運営スタッフ数	0人

#### ②各クラブに関すること

- 現状、地域クラブとしている部活動はない

地域移行指導者を配置しており、今後町スポーツ協会等と協議し、地域クラブの発足、受け入れを検討していく

中学校名	運営団体種別	種目	実施回数 (平日・休日)	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
穴水中	部活動	ソフトテニス男子	・休日 1回	休日 9:00~12:00	1年 5名 2年 3名 3年	令和6年4月~ 令和7年2月	1人	-	-	中体連：部活動
穴水中	部活動	ソフトテニス女子	・休日 1回	休日 9:00~12:00	1年 0名 2年 8名 3年	令和6年4月~ 令和7年2月	1人	-	-	中体連：部活動
穴水中	部活動	剣道	・休日 1回	休日 9:00~12:00	1年 1名 2年 4名 3年	令和6年4月~ 令和7年2月	1人	-	-	中体連：部活動
穴水中	部活動	陸上競技	・休日 1回	休日 9:00~12:00	1年 6名 2年 2名 3年	令和6年4月~ 令和7年2月	1人	-	-	中体連：部活動

# 2.実証内容と成果

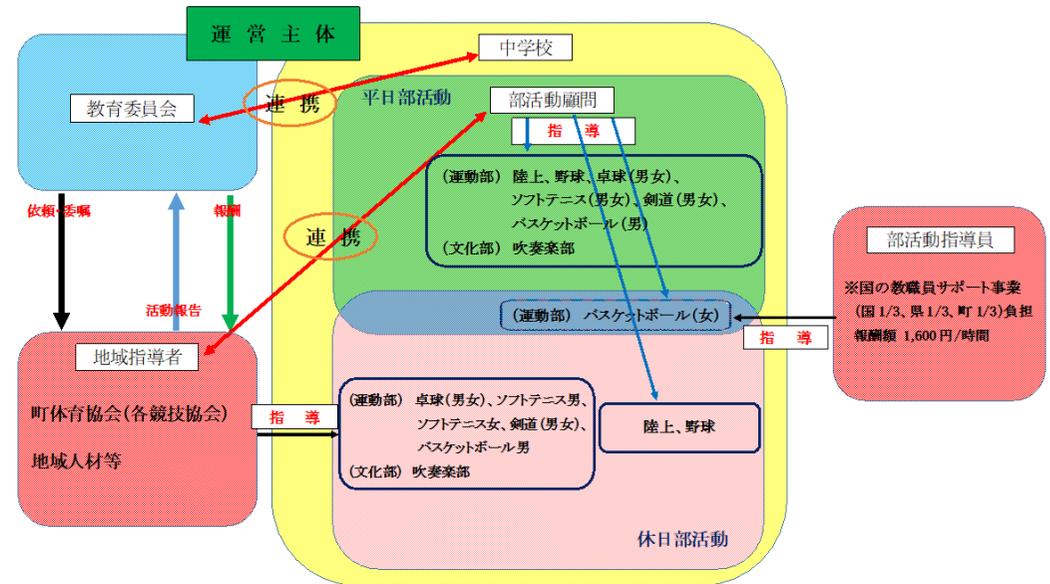
## 主な取組例

### ●地域移行 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	ソフトテニス（男女）、剣道、陸上
期間と日数	令和6年4月から令和7年2月
指導者の主な属性	※各競技団体からの推薦者
活動場所	平日部活動と同様
主な移動手段	平日の通学と同様
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

### ●運営体制図（地域移行を実施する際の運営体制図）

（穴水町）部活動地域移行体制イメージ図



### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

指導者・・・  
退職教員、長年部活動の指導をボランティアで行っている方（校長推薦）、スポーツ少年団指導者を推薦し、配置している

## 2.実証内容と成果

**ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備**

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

学校、指導者間で予定調整及び指導内容についての連絡、打合せを実施しており、現在の状況で体制的には円滑に運営できている。

指導員としてスポーツ協会の役員（スポーツ少年団本部長）が体制内に入っているためスポーツ少年団との合同での活動も検討している。

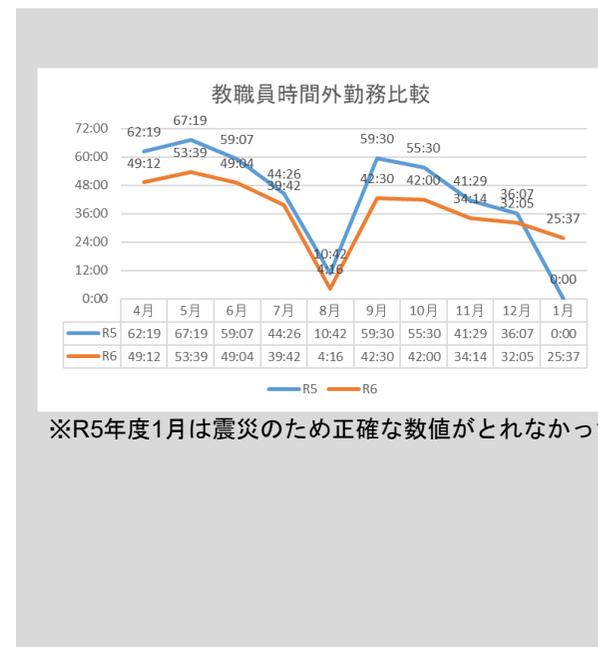
##### 取組の成果

地域移行指導者が配置されている3種目（4部活）に対して、アンケートを実施（回収率100%）

- ・教員以外の大人と接する機会が増え、教員以外でもしっかり対話することができるようになった。
- ・専門的な練習方法を教えてもらえて嬉しい 等

教職員の時間外勤務がR5年度、令和6年度で比較した結果すべての月でR5年度を下回った。

80時間以上の時間外勤務があった職員についてもR6年度では1名のみとなっており、そのほかの職員については80時間以上の職員はいなくなった。



##### 今後の課題と対応方針

生徒の中には顧問が部活動に参加しないことを疑問に思う生徒もおり、制度に対する理解を促す機会を作る必要を感じる。  
平均勤務時間外が45時間を超える月もあり、教員の負担軽減のため教員の意識改革を積極的に取り組む必要がある。

##### コーディネーターの具体的な動きの実績

コーディネーターは配置しておらず、外部指導者と学校との直接の連絡となっている。  
現在、問題なく進んでいるが今後教員の負担軽減を進めていく上で、配置を検討する。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

##### 指導者研修の内容

町スポーツ協会役員・スポーツ少年団本部長（元校長先生）から生徒への練習に接する際の注意点等について説明等をしてもらった。

講師も部活動指導員として長く部活動の指導にたずさわっていることから経験を踏まえての内容で説明を実施した。

中学校校長より指導について、勝ちにこだわるのではなく、一人ひとりにあった指導をお願いした。

また、指導者間での情報共有を行った。

##### 指導者研修の参加実績

予定の都合上、参加者が限られていたので別途個別で指導を行っていただいた。

4名の運動部活動外部指導者以外にも1名の文化部活動外部指導者に対して説明会を実施した。

##### 受講者の声

全体で聞けるように開催をしてもらいたい。

（全体での開催ができていないため他の指導者の話も聞きたい）

退職教員の指導者が多いので参考になった。

もっと意見の徴収ができるように定期的開催してほしい。

##### 今後の課題と対応方針

指導者の研修実施をスケジュール調整を早期に行い、複数回行えるようにする。

また、学校の思いを入れた研修マニュアルを作成することで指導者に配布できるように検討していく。

自治体で主催での説明会のほか、県主催で開催される研修会に参加可能なものがあれば情報の提供を行う。

定期的な情報共有する場としての役割も担うこと場としても定期的な開催ができるよう調整する。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

**ウ：関係団体・分野との連携強化**

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

##### 取組事項

主に指導に当たっている方は、元教員及び長年スポーツ少年団やボランティアで学校部活動を指導してきた方を中心に配置している。

特にスポーツ協会役員は元教員であり、その方を中心に指導や生徒との関わり方に対して、助言を頂く体制もできている。

##### 取組の成果

生徒のアンケート結果からポジティブな意見も多くみられた。

- ・先生以外の大人と話す機会ができて、最初は緊張したが普通に話したりできるようになった。
- ・変わった練習方法を教えてもらい楽しかった。
- ・専門的な練習やアドバイスがもらえるのでうれしい。

保護者からのアンケート結果は以下のような意見が見られた。

- ・スタートしてまだ間もないため改善点も多く感じられる。
- ・もっと地域移行の日を多くしてほしい。
- ・地域の先生が一生懸命教えてくれてうれしい。

引き続き、事業継続することによって理解が深められると思われる。

##### 今後の課題と対応方針

町では、地域クラブが存在しておらず、新たに発足するための人材も乏しい。

地域クラブ化に向けて、町スポーツ協会、町スポーツ少年団と協議し、スポーツ少年団と連携した形で地域クラブ発足を検討する必要があると感じる。人口減少が著しいなか中学生のみでなく、小学生が主に活動するスポーツ少年団の団員数も少なくなっているため練習機会の確保につながると思っている。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

**オ：内容の充実**  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 オ：内容の充実

##### 取組事項

地域移行として6部活動を対象としており、うち指導者を4部活動に配置している。

残り2部活動については、指導者を引き続き探しているところである。

学校と指導者が連携し、指導方針についての話をする場を設けており、連携を密にとっている。

##### 活動の詳細

参加人数	4 5人	指導者数	4人
属性	退職教員、スポーツ少年団指導者、長年ボランティアで指導に当たっていた方		
具体的な内容	・土日祝で1日を活動日として、練習の指導を行っている。		
子供・保護者の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 活動時間（3時間）についてはちょうど良い</li> <li>● もっと地域移行の日を増やしてほしい（平日）</li> <li>● 楽しく活動できた</li> <li>● 上達する姿を見れてうれしい、子どももやる気が見えるようになった</li> </ul>		
関係者の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今まで専門的な指導がなかったため、経験者と同じ練習をしていたが、効果的でないためその子に必要な練習を指導している</li> <li>● スポーツ少年団の時から指導しているため子ども・保護者も安心してもらえている</li> </ul>		
運営経費	指導者謝金を自治体から支出 参加者の保険料については実費負担（800円）をお願いしている		

##### 取組の成果

指導者を4部活動に配置することができた。

残り2部活動については引き続き指導者の依頼をスポーツ協会に対し、依頼をしているところである。

##### 今後の課題と対応方針

いまだ外部指導員を部活動に配置できていない部活動がある。

引き続き、スポーツ協会及び競技協会にも打診をしているが、仕事の関係上どうしても土日に指導ができる方が見つからない状況である。（地震により町を離れる方も少なくないことも要因）

引き続き打診をしているが、平日の指導に切り替えて依頼することも検討する。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

平日部活動場所と基本的には同様の場所としており、基本的には学校備品を使用している  
(一部地域移行が必要であった備品等については自治体負担で購入)

##### 取組の成果

活動場所が平日と同じであるため、通学手段が変わらず支障がない。

学校にある部活動の備品もそのまま使えるため、指導者も負担が掛らない。

教員もケガ等の事故があった場合でも近くでの活動のため情報共有が早く行える。

なお、部活動以外に地域移行のため備品の整備を行った(陸上競技のハードル、スターティングブロック等)

※外部指導員がハードルなど専門的な指導にあたれることによって、競技の幅が広がった。

##### 今後の課題と対応方針

現状と同じ場所での活動を主にできればと考えているが、今後の地域クラブ化やスポーツ少年団との連携等を考えていく必要があるため活動場所については、今後検討をしていくことが必要

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ク：その他の取組 平日活動

##### 取組事項

現在、休日の活動のみを実証事業として行っているが平日も同様にしてほしいとの声もでている。 指導者の協力により平日（ボランティア）も指導を行っている活動をしている競技もある。

##### 取組の成果

一貫した指導が可能となり、技術面でも安心して指導を行えている。  
また、外部指導者と教員との密な連絡が可能となり、細やかな情報共有が可能となった。  
顧問も指導方法についてのレクチャーを受けており、外部指導員がいない練習日でも一貫した指導が可能となる。  
教員に対するストレス（競技経験のない顧問）の緩和ができた。

##### 指導者の属性や配置の工夫

- ・指導者の属性  
休日地域移行と同じ指導者に協力をお願いしている。
- ・配置の工夫  
平日活動と休日活動で指導者が変わるとことで指導方針を共有しても少しのズレが生じるため、指導者が同じであれば生徒に一貫した指導をお願いできる。

##### 一貫指導に関する部活動顧問との連携事例

現在、平日にも協力をいただいております。顧問も指導者から指導方法についてレクチャーを受ける機会ができています。  
指導者不在時でも一貫した指導ができています。  
また、活動の様子がよくわかる。

##### 今後の課題と対応方針

平日の活動も視野に入れて、指導者と学校と協議をすすめていく。

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

1月1日発生した地震によって一時活動の中断し、学校、生徒、指導者も被災のため活動の再開が見通しがたっていなかったが、3月ごろから徐々に活動を再開することができ、現在は概ね通常通りの活動が可能となっている。

休日の地域移行については、指導者配置の種目については、概ね円滑に活動ができている。

しかしながら、いまだに指導者を配置できていない種目については引き続き候補者の発掘を進める必要がある。

また、地域移行の浸透が進むなかで地域クラブ化について、受け入れできる体制の整備を早急に進めていく必要が感じられる。

中学生だけでなく、小学生の活動も同様に検討することで小学生、中学生両方の活動機会の確保を町として進めていく必要を強く感じている。

#### ●成果の評価

○活動中の地域移行については、順調かつ円滑に指導を行っており、教職員の時間外勤務についても数値で減少していることが確認できている。

指導者の配置がまだできていない種目については、引き続き指導者の発掘を続けていく。

○生徒については、一貫した指導を行っているため競技力向上、練習の質の向上につながっている。

しかしながら、保護者からは顧問が活動に参加していないことに一部ご理解いただけない部分があり、引き続き制度や今後の方針を示しながら理解を深めていく必要がある。

#### ●今後に向けて

地域クラブ化の設立やスポーツ少年団との連携を検討していく必要を感じており、今後の方針についての協議を一層進めていくことが必要であり、町スポーツ協会とも連携を密にとり推進していく。

### アンケート結果・参加者の声

#### ●アンケート結果（生徒保護者）

Q.活動の意義を感じているものは

- ・チームワークや協調性を身に付けることができる
- ・体力や技術を向上させることができる
- ・社会性（挨拶・礼儀等）を身に付けることができる

Q.地域指導者の指導を受けての感想を教えてください

- ・専門的な技術指導をしてもらえる
- ・練習方法が効率的になった
- ・自分（お子様）の技術力が向上している

Q.部活動顧問・地域指導者の方に期待することを教えてください

- ・体力・技術の向上
- ・専門的な技術指導を受けたい
- ・短い時間で効率的に指導してもらいたい
- ・人間形成や人間関係の構築

Q.休日部活動の練習時間について教えてください（3時間）

- ・ちょうどいい

#### ●参加者の声

##### 生徒

外部から来てくれる人と先生でしっかり話をして方針を決めてほしい

##### 保護者

上手になっていて感激しています。大変な中ご指導頂き感謝します。

##### 保護者

もっと指導者の人に入ってもらいたい。  
基本からしっかりと指導してほしい。

##### 保護者

地域移行した実感があまり感じられない、土日のような休日だけでなく平日でも指導が受けれる体制をとってほしい

##### 保護者

地域指導者の方の指導も楽しいと言っています

## 2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



### 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



#### ●経過

##### ○事業説明

令和6年3月 町スポーツ協会  
顧問、保護者代表

令和6年5月 PTA会

##### ○事業開始

令和6年5月 地域移行

令和7年1月 アンケート実施

四半期ごと 教職員時間外勤務調査

#### ●実施にあたって生じた課題

・競技協会に指導者の推薦を依頼していたが、適当の人材が出ていない。

#### ●実施内容、工夫した点等

・競技協会より推薦してもらうことで、専門的な指導者を配置できる

・実証事業開始時は生徒との指導者が慣れるまでは部活動顧問が参加する期間を設けた。

・事業開始時に学校と指導者の指導方針について話をする場を設けてすり合わせをおこなった。

#### ●今後の計画

町スポーツ協会、スポーツ少年団、学校と地域クラブ化に向けた意見交換の場を設け、中学生だけでなく町全体のビジョンをもって地域クラブの基本方針を検討する。

現状、町に地域クラブの発足になりうる団体、指導者がいない状況のため、現在活動中であるスポーツ少年団と連携をとることが必要と考えている。

#### ●今後の課題

中体連の地域クラブ活動の参加資格を確認し、必要に応じた指導員資格の取得を促すが、指導者の高齢化により取得に対して積極的でない。指導員資格の取得に関する課題解消が必要である。

# 3. 今後の方向性

## 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

